

2012 年度数学教育学会夏期研究会(関東エリア)について
第2次アナウンスメント

関係各位,

「未来を拓く数学教師に元気と本気を！」
— 教員養成と教員研修の長期連携の仕組みを模索する —

を基本テーマとして下記要領で夏季研究会を開催しますのでご案内します。

実行委員長	長岡 亮介	明治大学理工学部
実行副委員長	河合 博一	前駿台甲府小学中学高校校長
実行副委員長	谷川 雅子	西武文理中学高校
事務局	谷田部篤雄	明治大学理工学部大学院, 他
顧問	渡邊 公夫	早稲田大学教育学部

研究発表に関しては、基本趣旨に沿ったものを歓迎します。(これは必ずしも厳しい限定ではなく実行委員会の希望です。)

第一次案内では、査読セグメントを設けることをアナウンスしましたが、諸般の事情から今回は見送らざるを得ないことになりました。査読セグメントへ投稿くださった方々には、別の形の配慮をしたいと考えています。

また、講習会は事前登録が必要です。

【I】日時(時間は予定):

2012 年 7 月 21 日 (土曜日) 10:00- 17:00 (講習会)

2012 年 7 月 22 日 (日曜日) 10:00- 17:00 (研究発表会)

【II】ところ: 明治大学紫紺館(千代田区神田駿河台 1-1) 3F 会議室

<http://www.meiji.ac.jp/koyuka/shikonkan/index.html>

<http://local.google.com/> で「明治大学 紫紺館」を検索していただければ詳しい周辺地図の他, 交通案内情報も得られます。

【III】プログラム基本構成

- (1) 7 月 21 日 講習会: 「受験を通してみる中等教育 — 高校と大学の連携のために」

講師(あくまで予定と仮題ですが次第に確定しつつあります。):

藤田 宏: 「入試問題作成の思い出」

後藤 四郎: 「数学者にとっての大学入試、数学としての大学入試」

石垣 春夫: 「教育現場と入試問題研究」

渡邊 公夫：「新しい高等学校教育といわゆる受験対策」
長岡 亮介：「いわゆる入試対策と本格的な受験勉強の違い」
河合 博一：「東大、京大、東工大入試と幾何教育」
峰村 勝弘：「高い立場から見た双曲線の漸近線」
谷田部 篤雄：「入試問題に見られる大学のレベル」

- 1) 10:00 - 12:00 (講習会第 1 セッション)
 - 2) 13:30 - 15:00 (講習会第 2 セッション)
 - 3) 15:30 - 17:00 (討論・討議セッション)
 - 4) 17:30 - 20:00 (懇親会)
- (2) 7月 22 日 研究発表と講演：「新学習指導要領と教員養成」を中心に
- 1) 10:00 - 12:00 (研究発表会セッション)
 - 2) 13:30 - 15:00 (講演会セッション)
 - 3) 15:30 - 17:00 (討論 / 討議セッション)

【IV】会費

講習会参加費：一律 1,000 円 (自由参加の懇親会は別)
研究発表会：一般：2,000 円
 学生：500 円

【V】発表申し込みなど

- (1) 申し込み締め切り：6月 30 日
- (2) 発表論文め切り：7月 15 日
- (3) 原稿フォーマット：原則として例会・年會に準拠，4pages 以内の電子ファイル (WORD 文書の場合は PDF ファイルもつけてください。いずれも返却致しません。)
- (4) 講演会、研究発表会の申し込み，及び論文提出先：
secretary@lamancha.ouj.ac.jp 宛の email をお願いします。(いずれの場合も必ず subject に MathEduSummer2012 (半角 17 文字) を書いてください。)